



社会調査情報処理実習I

2007年9月27日

データと情報

- ◆ データ...社会的に利用可能な形の「事実」
- ◆ 情報...データに何らかの意味づけを行ったもの

→データ群から社会的な意味を持たせた情報を取り出す

→社会に関する判断・意志決定を行う手がかり

定型データと非定型データ

- A. インターネットの大手掲示板に書き込まれた内容をデータとして、現代社会について分析を行う。
- B. インターネットの利用目的、利用時間と利用者の年齢、性別との関連について分析を行う。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

数値化

- ◆ A. 授業に欠席しないで講義をきちんと受講した学生の方が、期末試験でよい結果を出していることを示したい。
- ◆ B. 自宅生と下宿生とで書籍代に差があるかどうかを調べたい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

量的データと質的データ

- ◆ 量的データ
 - 四則計算が出来る
- ◆ 質的データ
 - 四則計算が出来ない、意味がない

量的データ

間隔尺度	間隔にも意味はあるが、比には意味がないもの	温度 時刻
比例尺度	測定値間の倍数関係（比）にも意味があるもの	長さ 時間

質的データ

名義尺度	文字の変わりにラベルを数字で付けたもの	性別 0:男性 1:女性
順序尺度	項目間に序列、大小関係はあるが、その間隔には意味がないもの	授業の満足度 4:大変満足 3:満足 2:あまり満足していない 1:不満

練習問題

A. 上の4つの尺度の中で、数値を「合計」した結果に意味があるのはどの尺度か。

B. 上の4つの尺度の中で、数値の「平均値」に意味があるのはどの尺度か。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

重要なことは

- ◆ データがおかれた**社会的文脈**を常に意識すること。
- ◆ 社会的文脈に即した**目的意識**を持ってデータを見ること。
- ◆ →それでは早速課題をやってみよう
<http://kyoto-edu.bne.jp/ryukoku/thu0304/>